

みんなでやらいや！

～まちづくり活動報告～(第23回)



防災意識の向上と地域交流を

まちづくり光徳地区会議

「10月13日(日)」

「光徳地区レクリエーション大会」が開催されました

まちづくり光徳地区会議では、光徳地区レクリエーション大会を交流の場と考え、多くの地域の皆さんに参加していただけるよう、内容や種目などの企画検討を重ねられました。

当日は、名和農業者トレーニングセンターに109人が集まりました。8つの種目を楽しみながら、光徳地区内の交流を深めました。

また、地域の防災・減災について考える機会を作ろうと、新しい取り組みとして「非常用備蓄品・防災資料の展示」が会場内で行われました。種目にも「防災クイズ」を取り入れられました。

大会は今年で3回目ですが、まちづくり委員にとつて、自分たちが中心となって企画や準備、当日の進行・運営を行うのは初めての経験でした。ハプニングもあったものの、参加者の皆さんに楽しんでもらうことができたという達成感とともに、反省点や課題も見つかりました。

まちづくり光徳地区会議では、今回のようなレクリエーション大会などの機会を有効に活用して地区全体をつなぎ、交流を深めることができるように今後も検討が続けられます。交流の中から、「今度はこちらの活動をやってみたいや!」と、地域の活性化につながっていくことを目指して取り組みを進めていきますので、皆さんのご協力をお願いします。

まちづくり所子地区会議

「10月27日(日)」

「防災フェスタを通じたまちづくり」



▲炊き出し訓練に豚汁を作りました

東日本大震災や、昨今の局地的な大雨や台風による河川氾濫など、大規模な災害が多発しています。このような災害に対応するには、個々の集落での避難計画や防災訓練だけでなく、他の集落との連携や協力による地区全体としての防災体制の確立が不可欠です。

そういった危機意識のもと、昨年に引き続き、まちづくり所子地区会議主催で10月27日(日)、所子地区防災フェスタが行われました。

当日は、保健福祉センターだいでんに子どもからお年寄りまで約250人が集まり、大山消防署の指導によるAED講習会、煙・水消火器・ホース延長放水体験や東日本大震災支援体験談、炊き出し訓練などが行われました。

参加者からは「防災のことを考えるいい機会になった」「体験がとてもよかった」「祭りのような感じで多くの人と交流できた」といった声が聞かれました。

まちづくり所子地区会議では、にぎわいのある所子地区への活性化に向け、月1回程度会議を開いています。今後も、地域全体の交流をさまざまな取り組みを通して進めていきます。その際には、皆さんの積極的な参加とご協力をよろしくお願いいたします。